

社会福祉法人永山会 令和5年度事業計画

【 法 人 】

新型コロナウイルスが日本で発症してから4年目の春を迎えた。

令和4年度は新型コロナ対策についてはウイルスの特性の変化やワクチン接種の進捗に応じて、これまでの感染者全員把握から、国民の行動制限や経済活動の制限の見直しが行われ、with コロナ(新型コロナウイルスとの併存)に向けて動き出した。しかしながら、高齢者にとっては引き続き重症化リスクが高く、感染予防対策の対象は飲食店や人の集まる場所から、高齢者施設や学校、保育所や家庭などに変わってきた。

当法人でも、令和4年度は感染症を施設内に持ち込まないことを優先課題とし、そのための対策を講じてきたが、入所施設でコロナウイルスのクラスターが発生するなど、急激に感染するオミクロン株との戦いの厳しさ、集団生活でのウイルス拡大予防の難しさを痛感した。この経験で学んだことを生かし、昨年立ち上げたプロジェクトチームで、早急にBCP(事業継続計画)を作成する。

令和5年度は新型コロナウイルスの取り扱いは2類相当から5類相当になる予定であるが、医療体制がそれに伴ったものになるのか、感染すれば重篤な状況になりやすい高齢者への施策は万全か、など課題は山積みである。どのような状況でも利用者の安全と安定したサービスが提供できるよう嘱託医、医療機関、行政との連携を深めたい。

令和4年3月に勃発したロシアとウクライナの戦争は1年近い今も解決を見ず、その影響が流通や輸入品に影響し、国内の物価が高騰し光熱費や日用品、介護用品に影響が及んでいる。サービスの質を落とすことなく支出削減に取り組み、健全な財務運営をすることが求められる。

施設介護では長引くコロナ感染予防対策で、面会をはじめとする入居者と家族との交流が不十分となり、そのストレスは家族も入居者も限界だと思われる。コロナ感染症が5類相当になった時に元の生活に戻れるのではないかと期待している家族も多い。

今後は改めて家族の想いや要望を聴取し、施設からも情報を発信し、施設運営に協力していただくよう信頼関係の再構築、開かれた施設づくりに努める。

また、在宅サービスでは、長引くコロナ対策で、高齢者が集う地域の居場所が少なくなっている。社会福祉法人の専門性を発揮し、地域福祉の拠点となり医療機関や地域の福祉関係者や地域住民と連携し在宅高齢者を支援する。

法人本部は、所轄庁に指導を仰ぎつつ、社会福祉法人として、さらなるガバナンスの強化、透明性の確保に努めるとともに、職員の福利厚生、研修システム、柔軟な雇用体制を構築する。

介護人材の不足については、少ない人数でも介護の現場がまわる仕組みづくりを実現し、ロボット、ICT(情報通信技術)、AI(人工知能)を積極的に活用する。

職員一人ひとりが法令を遵守し、ヒューマンエラーや不正な行為を許さず、基本理念である『明るく、楽しく、美しく』に基づき、利用者一人ひとりの尊厳ある生活を守り、自律した生活支援に努め、日常生活を満足して暮らしていただける事業運営を目指す。

長期計画（6か年）令和3年～令和8年

1. 社会福祉法人のガバナンス強化及び透明性の確保に努める。
2. 効果的なリスクマネジメントの構築。
3. 利用者の自己実現の達成を目指す。
4. 職員の適正やキャリアに沿った教育体制を構築し人材の育成を図る。

中期計画（3か年）令和3年～令和5年

1. 事業運営の効率化を図り法人経営の安定を図る。
2. B C P（事業継続計画）の策定とそれに沿ったマニュアルづくり。
3. 活発な事業運営を展開するとともに、若手職員を役職に登用し次世代管理職を育成する。
4. キャリアパスに沿った新人・現任研修や中途採用者また、派遣職員の研修の充実を図る。
5. 地域や家族との結びつきを重視し積極的な交流を進める。
6. 新たな雇用体制の構築。

令和5年度重点課題

- （1）安定した経営（財務の安定）
物価高騰に対する支出削減への取り組み。
- （2）感染症や自然災害に強い施設づくり
令和6年に義務化されるB C P（事業継続計画）の策定と訓練。
- （3）高齢者（入居者）の望む暮らしをサポートする
高齢者・家族・事業所との信頼関係の構築。
住み慣れた地域での暮らしをサポートする
- （4）未来に向けた人材の確保と職員教育
キャリアパスの見直し、資格取得に対する支援。
ハラスメント防止。

【 事 業 所 名 】 特別養護老人ホームそせい苑 / そせい苑ショートステイ

重点目標

1. 入居者の安心と安全を実現させるため、入居者一人ひとりの日々の生活の様子に目を向けて、個々のペースや思いに配慮した関わりを最優先にする。
2. 人件費や水光熱費などの高騰経費を見直し、前年比より 20%の削減をする。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

(特養)

- (1) 入居者一人ひとりの基礎疾患やADLを理解し、サービス担当者ごとに具体的に適切な介護方法を検討することにより、介護上で起こりうる事故の予防に努め、年間平均稼働率 98%を目標とする。

(短期)

- (1) 毎週月曜日に空床状況を各事業所へ発信する。特養の入院やご利用予定のキャンセルがあれば、相談員を中心に各事業所へ情報を発信する。年間平均稼働率 99%を目標とする。

(共通)

- (1) 派遣職員の割合が高いため、就職説明会へ積極的に参加し人件費の削減に努める。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 地域住民の集会などに積極的に参加することで地域住民との密接な連携体制を確保する。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 派遣職員や新しい職員が比較的に多くなっている中で、介護方法を統一するために、分かりやすい表を作成する。
- (2) 外に出る機会が著しく減っているので週 2 回は散歩等を行います。

(短期)

- (1) 特養入居者と一緒に生活する中でショートステイをご利用いただいている方が退屈しないようにクラブなどを再開させる。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 介護職員の派遣割合が 80%となっているため、50%を目標とし就職説明会へ参加する。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 感染が拡大している新型コロナウイルスを施設に持ち込まないように予防対策を引き続き実施する。
- (2) 感染症が発生しても入居者に必要なサービスが安定的且つ継続的に提供できるように事業継続計画を作成し、訓練を実施する。

6. 災害対策

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 災害備蓄を入居者及び職員並びに地域住民などの必要分を常に確保し、災害に備える。
- (2) 災害が発生しても入居者に必要なサービスが安定的且つ継続的に提供できるように事業継続計画を作成し、訓練を実施する。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 開設から 28 年の年月が過ぎ、配管からの水漏れやエレベーター部品の経年劣化は必至である。入居者に不便を掛けないように保守を徹底していき、円滑な修繕を行う。

【事業所名】 そせい苑老人デイサービス

重点目標

1. 稼働率 70%以上を実現させるため、利用者一人ひとりが抱えているニーズに目を向け、個々のペースや思いに配慮した関わりを最優先にする。
2. 水光熱費などの高騰経費を見直し、前年比より 10%の削減をする。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 一般研修で行われている営業力強化研修に参加する。
- (2) サービス内容を見直すため、他事業所の見学会に参加する。リハビリの内容が利用者から好評であるため、リハビリ機器を見直し、より良いリハビリを提供する。
- (3) 稼働率を安定させるために、曜日毎の登録者数を 25 名以上にする。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 近隣地域のサロンへ出向き、介護予防につながる体操や自宅でできる感染予防など職種の専門性を活かすことで地域との繋がりを強化する。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 送迎方法について、適切な送迎ルートをし、新規利用者を獲得する度に見直し、円滑かつ安全なルートを選択する。
- (2) 介護予防型テレビゲームを活用し、利用者が楽しみながら介護予防が出来るレクリエーションプログラムを提供する。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 職員一人ひとりの自己実現、キャリアアップを支援するために、職員が働く意義や目標を確認出来るよう、定期的な個別面談を年 2 回以上実施する。
- (2) 職員同士で仕事内容のコミュニケーションを密に取り、要望や意見を、その都度、対応していくことで働きやすい環境の整備に努める。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 利用者や職員に手洗い・うがいの徹底と体調のチェックをし、感染症予防に努める。
- (2) 循環式浴槽の週 1 回の清掃と換水、循環経路の粗大汚濁物を除去する装置（ヘアキャッチャー）の清掃、設備の衛生管理を行う。浴槽水の消毒に当たっては、塩素系

薬剤を使用し、浴槽水中の遊離残留塩素濃度を測定して、通常0.4～0.8mg/Lに保ち、レジオネラ菌発生の防止に努める。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) デイサービス利用中の災害発生時に、利用者の安全確保や誘導が適切に行えるように訓練（シミュレーション）を実施する。
- (2) BCP（事業継続計画）に基づいて行動出来るよう職員一人ひとりが内容を把握・実施出来るよう努め、緊急連絡網を活用するための訓練（シミュレーション）を実施する。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 施設備品の耐用年数及び不具合等を適切に把握するためにチェック表にまとめ、整備・修繕を行う。

【事業所名】 そせい苑ケアプランセンター

重点課題

1. 稼働率を維持し、年間平均稼働率 95%を目指す。
2. ケアマネジャー毎の個人目標を明確にし、それぞれの習得目標に合わせた研修を計画的に年 4 回以上実施していく。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 毎月の適正件数の達成とケアマネジメントに係る書類を整備する。ケアマネジャー増員後も利用者新規獲得を進め、目標平均稼働率 95%を目指す。
- (2) 定期情報共有会議や包括・他事業所と連携し、収益面の増収を目指す。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 今年度より開始する個別避難計画をご利用者・ご家族とともに策定。地域ケア会議などを通じて、近隣住民や消防・警察など各関係機関とのネットワークを構築し、要介護者が様々な災害時に想定される危険性や対応する役割などを平常時から共有しておく。
- (2) 認知症介護をする家族をサポートし、サービス利用に繋げる。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 年 6 回開催する京都市老人福祉協議会居宅介護支援部会や伏見区サービス事業所連絡会、また随時開催している京都府介護支援専門員会、社会福祉協議会から届く研修案内を意識的に確認し、キャリアパス・個別研修計画に応じた研修へ職員各々が年 4 回以上参加する。
- (2) 医療との連携を密にし、在宅生活継続を支援するネットワーク作りを構築する。
また、医療連携のための橋渡し、サービス調整力、コミュニケーション能力を研鑽する。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 年 2 回の面談やミーティングを通じてコミュニケーションを図り、働き甲斐のある職場作りを構築し、離職を防止し人材の育成を図る。
- (2) オンラインカンファレンスなどができる環境設定や、ペーパーレス FAX の機能を習得し、業務の効率化を図る。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 家族やサービス事業所、医療機関、行政との情報共有を密にし、感染予防に努める。
- (2) 発熱外来や訪問診療の受け入れ状況など、地域の医療体制を把握し、迅速かつ適切に連携が図れるよう努める。また、日頃から掛りつけ医と病院との連携を図り、支援体制を強化できるように調整していく。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) BCP の策定を迅速に進め、地域福祉の拠点として、医療機関や地域の福祉関係者、地域住民と連携を図って行く。
- (2) 個別避難計画対象者以外の利用者についても、想定される危険性を本人、家族と共有し、平常時より利用者一人ひとりに合わせたサポート体制を調整していく。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 外勤時に使用する電動自転車、パソコン関係、法人携帯電話など備品のメンテナンスをこまめに行なうなど、備品を大切に使用する。

【 事 業 所 名 】 下鳥羽地域包括支援センター

重点目標

1. 高齢者の望む暮らしをサポートする。
2. 安定した人材確保に努める。
3. 地域に向けて感染予防対策の普及啓発活動を強化する。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 京都市からの委託料以外の実績に伴う加算を確保し、センターの運営基盤の安定化を図る。
- (2) 専門3職種6名体制の配置人員の確保と安定化に努める。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) with コロナでの地域連携強化。ICTを駆使しながら、絶え間のない地域連携強化を昨年に引き続き行う。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大の中で、高齢者の見守り支援が阻まれる中、高齢者の生活を危ぶむ課題が山積している。
高齢者の日常生活を擁護するため、医療、介護従事者、行政、弁護士等の関係強化に努める。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 職員一人ひとりのスキルアップを図る。
- (2) リスクマネジメントの視点向上と基本指針の徹底(公益性・地域制・協調性)

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 職員一人ひとりが専門性を高め地域包括職員として誇りが持てるようにする
- (2) 一人で抱え込まないよう、チームで考え共有する雰囲気を作る。
サンキューカードなどを利用し挨拶やコミュニケーションを充実させ、適宜職員の個人面談を行い、必要に応じたメンタルサポートを行う。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 職場内での感染予防対策強化を徹底する。
- (2) with コロナとして、令和5年度も地域に向けた新型コロナウイルス感染対策の

普及啓発活動を強化していく。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 地域包括支援センターとして災害対応と BCP について職員間で理解を深める。
- (2) 令和 6 年までに圏域での BCP について連携強化を地域や事業所と協議する。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 無駄をなくし法人の機材を大切に使う。
- (2) 定期的にメンテナンスを行い、故障の予防に努める。
- (3) 現在の事務所は手狭なため、業務の効率化を考慮し移転先を検討する。

【事業所名】 介護老人福祉施設まどか / 短期入所生活介護まどか

重点目標

1. 介護（サービス）内容を可視化し、入居者の生活、職員の資質向上、家族や関係事業所との信頼関係の構築を目指す。
2. 事務費、事業費の経費削減に努め、財務の安定を図る。
3. 新たな IOT 機器の導入により、職員負担の軽減、生産性の向上を目指す。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

（特養）

- （1）サービス担当者会議ごとに入居者個々の、適切で具体的な介護方法を検討し、基礎疾患の理解と事故の防止に努め入院者数、事故件数を減らす。

（短期）

- （1）相談員、役職者が中心となり、毎週月・木曜日に居宅介護支援事業所にショートステイの空室情報の発信を行い、年間平均稼働率 95%を目指す。

（共通）

- （1）全館 LED 化を実施する。また、コスト意識を施設全体で向上させ、使用量を削減するために、毎月の電気使用量、水道使用量、コピー枚数をグラフ化し、その推移を共用部に掲示する。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

（共通）

- （1）運営推進会議や地域ケア会議に参加し、地域活動の状況やニーズを把握し、まどかサロンの再開に向けて準備を行う。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

（特養）

- （1）介護方法の可視化を行い、ユニット職員以外の介護職員、その他専門職、新しく入職した職員でも統一した介護方法で対応できるようにする。

（短期）

- （1）運動機器やロボットなどを導入し、利用中の過ごし方の選択肢を増やす。またパンフレットの一斉更新、利用中のサマリーの記載内容を再検討し、家族や担当ケアマネジャーに分かりやすくする。

(共通)

- (1) 安全対策担当者が中心となり、事故後のケースカンファレンス内容に準じた対策が行われているか、またその評価をユニット会議で行う。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 全ての職員が個人目標に則した外部研修へ参加する。
- (2) まどか全体会議を毎月第4金曜日に実施し、施設全体に係わる諸問題や提案などについて話し合い、施設づくりに職員一人ひとりが参画できるようにする。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 第1、3月曜日に感染予防備品の在庫確認を看護師と事務員が行い、所属長・施設長に提出。不足が無いように在庫管理と発注を行う。
- (2) 感染症をテーマとした勉強会をユニット会議内で、ユニットリーダーと看護師が中心に行う。

6. 災害対策

具体的目標と指標

(共通)

- (1) BCP（事業継続計画）に基づいた、地震や水害を想定する避難訓練をそれぞれ1回実施する。
- (2) 第1、3月曜日に災害備蓄品の在庫確認をBCP担当職員、管理栄養士が行い、所属長・施設長に提出。賞味期限切れや不足が無いように在庫管理と発注を行う。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 事業所ごとに保守・修繕を担当する役職者を選定し、不具合や故障などの報告と迅速な対応を講じ、計画的に施設内の修繕を行う。
- (2) ユニットごとに整理整頓週間を毎月設定し、ご利用者の生活環境の整備を行う。

【 事 業 所 名 】 まどかⅡ番館特別養護老人ホーム

重点目標

1. 介護の基本に立ち返り介護力の底上げを図る。
2. 多職種連携に力を入れチーム一丸となって高品質の介護サービスが提供できる体制を整備する。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 病気の早期発見を他職種（介護職・相談員・看護師・機能訓練指導員）と連携し、入居者の状態把握、ケアの質を高め目標稼働率 98.0%を維持する。
- (2) 人材紹介会社の使用を極力減らしハローワークを積極的に活用し、適正な人員を確保する。また、職員の 1 ヶ月の残業時間を 10 時間に抑え私生活も充実してもらう。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 社会情勢を見て、施設と地域会合に積極的に参加する。
- (2) まどかⅡ番館サロンを使用し縁日を再開する。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) ユニット会議を充実させ、入居者情報を共有し統一したケアを図る。
- (2) 面会が限られているので、家族への連絡を密に行い、サービスの質を高める。
- (3) 基本の介護技術研修を年 1 回以上実施する。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 職員が離職しないように全体会議を通して意見を聞き、働きやすい環境を作る。
- (2) 年 2 回の面談を通して個々の希望に応じた研修や委員会に配属し、モチベーションアップを図る。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 定期の抗原検査と各自の健康管理で新型コロナウイルスを持ち込まないように努める。施設に持ち込まれた際はクラスターにならないようにマニュアルに従い感染対策を強化する。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 年2回の避難訓練で火災以外の避難訓練も1回は実施する。
- (2) 防災委員と協力し、必要備品の購入をする。
- (3) BCP（事業継続計画）に準じたシミュレーションの実施、災害時の緊急連絡網の更新を定期的に行う。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 入居者の使用するベッドやトイレ等の介護機器及び導線となる設備を定期的に点検し、安全な暮らしを保障できるよう努める。
- (2) 修理が必要な物品や購入が必要な物は早急に対応する。

【 事業所名 】 まどか特養Ⅱ番館グループホーム

重点目標

1. 個々の活動性や認知機能の低下予防を目的とした生活支援を実践する。
2. 下肢筋力低下による転倒、骨折が生じないよう個別運動を身体機能に応じて実践する。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) かかりつけ医との連携・情報共有を定期的に行い、体調管理を行うことで、持病や身体状況の悪化を予防する。
- (2) 居宅支援事業所や病院の地域連携室と連絡を密にし、退所後速やかに入所できるよう待機者を確保し、目標稼働率100%に近づける。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 運営推進会議の開催方法を再検討し、地域住民と施設間の情報の共有や意見や助言等を施設運営に反映し、開かれた施設運営を行う。
- (2) 災害時におけるBCP（事業継続計画）を策定し、地域の防災拠点となる体制を整備する。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 認知症の進行緩和を目的とした個別レクリエーションを強化し、活動性や下肢筋力の低下、認知症の進行を緩和する。
- (2) 歩く機会、時間を必ず週1回設け、下肢筋力低下を予防する。
- (3) 認知症、看取り、感染症、事故予防等の研修に参加し、介護サービスの向上を図る。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) キャリアパス制度を基に、年2回の面接を行い個々の目標設定や希望の聴取、資格取得の支援等、働くモチベーションにつながる人事考課を行う。
- (2) 適材適所の人員配置を行い残業時間の削減を図り、働きやすい環境を整備し、離職を防止する。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 入居者、職員の健康管理の継続及び新型コロナウイルス等の罹患が疑われる段階からフローチャートに準じて適切な初期対応を行い、施設内でのクラスターを予防す

る。

- (2) 消毒、換気などの環境整備、感染予防備品などの管理を徹底する。
- (3) 施設内感染症の発症を想定した勉強会、シミュレーションを実施し感染対策に関する知識を習得する。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) BCP（事業継続計画）に準じたシミュレーションの実施、災害時の緊急連絡網の更新を定期的に行う。
- (2) 防災委員会と協力し災害備蓄を見直し大型災害時に備える。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 備品を大切に扱う事を前提に、施設内設備を使用し、入居者の生活に支障がでる施設設備の不具合については迅速に対応する。
- (2) 物価高騰を考慮し、消耗品の節約、浪費を抑えるよう取り組む。

【事業所名】 まどかⅡ番館デイサービス

重点課題

1. 利用者一人ひとりが利用時間中の過ごし方を選択でき、入浴、友人づくり、リハビリ、読書、手芸、書道など楽しく過ごせるサービスを目指す。
2. 安全で安心出来るデイ・来て楽しいデイであり続け、必要以上に手を出さず自立支援の介護に努める。
3. 施設内の掃除を徹底し、消毒、換気に努めます。引き続きご家族、ケアマネジャーとの連携を図り、体調不良の早期発見や感染症の罹患を防止し、クラスター発生を予防する。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 新規利用者を獲得し、一日の利用人数平均 17 人以上・年間の稼働率 80%超を目指す。
- (2) 定期的に広報誌（チラシ）を作成し、ケアマネジャーに広く配布し、デイサービスの取り組みを情報提供する。また、定期的にブログの更新を行うと共にブログ掲載をケアマネジャーや家族に周知し、稼働率向上を目指す。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) コロナ禍ではあるが、地域交流サロンを地域住民の社会活動の場として活用していくことを引き続き検討する。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 趣味活動の継続や介護予防に重点を置いたクラブ活動、レクリエーションなどの介護サービスを提供する。
- (2) デイサービス利用時やカンファレンスの際に本人や家族、ケアマネジャーの要望を聞きとり、介護士の視点・看護師の視点・機能訓練指導員の視点・相談員の視点それぞれの視点を生かして、ケアプランを作成し、きめ細かな支援に努める。
- (3) 理学療法士主体によるリハビリ担当者の家庭訪問のアセスメントを通じてリハビリメニューを充実させ、自宅で安全に過ごせるよう支援する。
- (4) 個人情報の流出に注意し、申し送りや送迎車内での会話に気を付ける。また、新規契約時やサービス担当者会議への出席など外部に出る場合も、資料などの扱いに注意する。
- (5) 接遇研修で学んだ言葉使いや身だしなみ等を引き続き実施する。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 年2回職員面接を行い、個々の目標設定や希望の聴取、資格取得の支援等、働くモチベーションにつながる人事考課を行う。
- (2) 離職を防止し、適材適所の人員配置を行い残業時間の削減を図り、働きやすい環境を整備する。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 送迎時の検温、体調管理を実施しデイサービス内でのうがい、手洗い、消毒を励行し感染症予防に引き続き努めていく。発熱などの感染症が疑われる段階からフローチャートに準じて適切な初期対応を行い、クラスターを予防する。
- (2) 消毒、換気などの環境整備、感染予防備品などの管理を徹底する。
- (3) 循環式浴槽の週1回の換水、循環経路の粗大汚濁物を除去する装置（ヘアキャッチャー）の清掃、浴槽水の消毒、設備の衛生管理を行い、レジオネラ菌発生を防止する。
- (4) 利用者だけでなく職員も発熱や倦怠感など見られる場合は出勤することなく休むことを絶対とし感染を未然に防ぐ。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) BCP（事業継続計画）に準じたシミュレーションの実施、災害時の緊急連絡網の更新を定期的に行う。
- (2) 防災委員会と協力し災害備蓄を見直し大規模災害時に備える。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 利用者の安全確保のための送迎車の定期メンテナンスや事故時の修理を迅速に行う。
- (2) 大浴場の管理に努める。
- (3) 施設設備に異常が見られた時は修理やメンテナンスを迅速に行う。

【事業所名】 特別養護老人ホームしがそせい苑 / ショートステイしがそせい苑
重点課題

(特養)

1. 利用者の尊厳を守り、笑顔で過ごしていただける介護をめざす。

(短期)

1. 利用者に「また来たい」と思ってもらえる処遇を目指す。

(共通)

1. 開設から 20 年が経ち、施設建物の老朽化や設備備品の不具合が認められる為、適切に把握し、計画的かつ適時の整備・修繕を行う。
2. 新たに IOT 機器、介護ロボットなどを導入し、介護現場の負担軽減、生産性の向上を図る。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

(特養)

- (1) 利用者一人ひとりのアセスメントを 3 ヶ月ごとに行い職員間での情報共有を確実に
行う仕組みを構築し、病気の早期発見及び予防に努める。
- (2) 職員のリスクマネジメント力を向上するために現場研修やケース検討会を行う。

(短期)

- (1) 空床情報や施設行事、クラブ活動などを家族やケアマネジャーに P R し目標稼働率
を目指す。また新たな居宅への営業 P R 活動を行う。

(共通)

- (1) 備品管理や在庫管理を組織全体で行い無駄な出費を抑える。
- (2) 全館 LED 化を実施する等のコスト削減に努める。

2. 地域交流

具体的目標と指標

(特養)

- (1) 地域自治会の一員として防災会議や消防訓練、消火栓点検に参加する。

(短期)

- (1) 認知症の方やその家族が安心して暮らせるまちづくりを行政や医療機関などと連
携して進める。重度の認知症利用者を積極的に受け入れる。

(共通)

- (1) いきいきサロンあけとみ開催について、感染症対策を徹底した企画立案の準備を進
める。

3. サービスの向上

具体的目標と指標

(特養)

- (1) 口腔ケア並びに看取りケア充実を図る。
- (2) ユニットの共同スペースやトイレ、居室の整理整頓等、清潔な環境での暮らしを保証すると共に、個別ケアを実践する。
- (3) 利用者の基本的人権について日常課題や気づきを問題提起し、ユニット会議やユニットリーダー会議で生活の質を向上できる環境づくりについて考える。
- (4) 施設内虐待の防止、虐待を許さない体制の風土をつくりコンプライアンスを徹底する。

(短期)

- (1) サービス向上アンケートを年2回以上実施し、課題となったサービス内容を振り返り、業務改善や処遇面での改善につなげる。
- (2) 自立支援の援助として行っているスタンプカードの見直し、ケアプランに沿った総合的な支援で利用者の機能向上に努める

(共通)

- (1) ICT（情報通信技術）の導入やお掃除ロボットを検討し、職員の介護負担を軽減することで、利用者への支援を充実させる。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 派遣職員や準職員を含む職員全員が技術や知識をより広く学ぶためWEB研修などを積極的に利用する。腰痛を抱える職員のため、腰痛予防に取り組む。
- (2) 職員の学習意欲を高めるため、全体研修に外部講師を招く。職員一人ひとりが希望する研修への参加を支援する。また、ピュアな会議や懇談、上司との面談で本人の想いが実現できる働きやすい職場づくりを目指す。
- (3) 介護福祉士、社会福祉士、実務者等、資格取得へのサポートをする。
- (4) 派遣職員から永山会正職員への登用を奨励する。

5. 感染対策

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 日常の消毒を継続し、感染管理マニュアルを整備する。
- (2) 感染が発生した時に拡大させない為、滋賀県のクラスター班の指導を基にした適切なゾーニングや感染予防対策を行う。

(短期)

- (1) 施設に感染症を「持ち込まない」を徹底し、感染拡大が起こらないように入所前の

利用者、家族の健康状態の事前確認。入所時の検温、健康チェック、同居される家族の健康状態の確認を行う等、利用者家族やケアマネジャーとの情報共有や連携を強化していく。

6. 災害対策

具体的目標と指標

(共通)

- (1) BCP 計画の学習会の実施と作成、大規模災害を想定した訓練の実施
- (2) 備蓄の確保と更新。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指標

(共通)

- (1) 全館トイレの扉の不具合を解消する。
- (2) エアコン、厨房機器、浴槽、送迎車両、ユニット内の備品、ベッドマットなど開設20年で経年劣化した備品を計画的に整備する。

【事業所名】 デイサービスしがそせい苑

重点課題

1. 一日当たりの平均利用者数を 10%増やし、利用者平均 23.5 人以上を目指す。
2. 機能訓練の充実とより効果的な身体機能の維持向上を図り自立支援を目標とする。
3. 認知症高齢者がその人らしく利用ができるよう支援する。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 組織体制で備品管理や在庫管理を行い無駄な出費を抑える。
- (2) 全館 LED 化を実施する等コスト削減に努める。
- (3) 送迎ルートを見直し効率的かつ経済的、安全な運行を目指す。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) 地域のサロンや、老人会、女性会などに出向き、介護の専門職として介護予防に役立つ情報を発信する。
- (2) 速野学区で暮らす高齢者及び認知症高齢者が安心して暮らせる仕組みづくり(送迎車での見守り等)を自治会と協力して構築する。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指標

- (1) 「L I F E」を活用し利用者の生活状況を把握し、自宅訪問やサービス担当者会議に参加し、介護予防、機能向上を目指し、心身機能訓練から生活行為向上訓練まで総合的に機能訓練を充実させる。
- (2) 職員は情報の共有に努め、アセスメント機能を高め個別性の高いサービスを提供する。
- (3) 施設内通貨を見直し、利用者一人ひとりのデイサービスでの過ごし方を確認し、満足の行く時間を過ごせるよう支援する。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 人材確保、育成、定着についてはキャリアパスに沿った研修参加や、ピュアな職員会議、職員同士の懇談、上司との面談などで本人の希望が実現できるような働きやすい職場づくりをしていく。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 全職員が統一した感染症予防対策が出来るようにマニュアル整備をする。
- (2) 感染拡大が起こらないように利用前には利用者、家族の健康状態の事前確認。検温、健康チェック行う等、利用者家族やケアマネジャーとの情報共有や連携を強化していく。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 利用中に大規模災害が起こることを想定した訓練を繰り返し行う。
- (2) BCP 委員会を中心に BCP 策定を行い非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、家族との連絡方法等、災害時に起こりうる状況や課題を想定して対応表を整備していく。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 開設 20 年目を迎えることから、利用に支障が出ないように設備点検を行い、故障箇所は速やかに修繕を行う。

【事業所名】 ケアハウスしがそせい苑

重点課題

1. コミュニケーションを通じて一人ひとりの個性を大切に、趣味の活動や、外出など自分らしく生活できるよう支援します。
2. 家族や親族と離れて暮らしていても入居者の暮らしを多くの支援者が見守ることが出来るよう、家族、親族、主治医、ケアマネジャー、友人との連携を強化します。
3. 病気の早期発見、介護予防に努める。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 入居待機者数を確保するため、各居宅介護支援事業所や病院の地域連携室への定期的な訪問活動を行う。
- (2) 入居希望があった場合は3日以内に連絡を取り、見学、面談を実施し、その後5日以内に状況を確認し入居判定委員会を開催する。
- (3) 全館LED化を実施する等のコスト削減に努める。

2. 地域貢献

具体的目標と指標

- (1) いきいきサロンあけとみ開催について、感染症対策を徹底した企画立案の準備を進める。
- (2) 入居者が地域の行事やクラブ活動、催しなどに参加できるよう支援する。

3. サービスの向上

具体的目標と指標

- (1) 介護予防の推進、入居者の機能の維持向上のため本人の希望に沿った介護予防サービス等が提供されるよう、地域包括支援センターや居宅支援事業所と情報を共有し、入居者がケアハウスでの生活を続けられるよう支援する。
- (2) 入居者が日々楽しく生活できるよう、また生活機能が維持できるようにクラブ活動や行事を開催する。

4. 人材確保

具体的目標と指標

- (1) 介護福祉士、社会福祉士、実務者等、本人の望む資格が取得できるよう支援する。
- (2) 派遣職員から永山会正職員への登用を奨励する。
- (3) 職員のライフスタイルに合った柔軟な雇用体制を構築する。
- (4) 職員会議や面談を通して職員の思いを聞き取り、マニュアルを整備し、業務分担を行い、働きやすい環境を作る。

5. 感染対策

具体的目標と指標

- (1) 感染症が発生した時に拡大させないため、滋賀県クラスター班の指導を基にした適切なゾーニングや感染予防対策が行えるよう研修を実施する。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) 法人のクラスターチームでBCP計画を作成する。
- (2) BCP計画に沿って、入居者と一緒に訓練をする。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指標

- (1) 各居室、共有空間のエアコンや照明、トイレなど、経年劣化に伴う不具合を修理・修繕する。

重点課題

1. 主任ケアマネジャー研修修了後に新しく特定事業所加算を取得し稼働率100%を目指す。
2. 買い物代行サービスや移動手段の代替サービスなどインフォーマルサービスなサービスをケアプランに位置付ける。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 事業運営の進め方や地域への広報、地域での役割、介護報酬における適切な居宅介護支援の加算算定に努める。
- (2) 事業所全体の資質向上に努め、地域住民に信頼される事業所を目指し、福祉の発展に貢献できる力を身に着ける。

2. 地域交流

具体的目標と指標

- (1) 5月にサロン再開にむけて感染症対策を徹底した企画立案の準備をすすめる。
- (2) 地域住民と協力し、コロナで孤立した高齢者の集える居場所づくりに取り組む。

3. サービスの向上

具体的目標と指標

- (1) 近隣の病院や守山市医師会、行政、地域役員など利用者をとりまく関係者との連携を構築する。
- (2) 主任ケアマネジャー研修をはじめとする、専門職として必要な研修やスキルアップのための研修会に参加する。
- (3) 事例検討会を近隣の事業所や施設内、法人内で行う。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指標

- (1) 法人内で資格取得要件を満たす職員と勉強会をするなど介護支援専門員の資格取得のための研修会を開催する。

5. 感染症対策

具体的目標と指標

- (1) 家族やサービス事業所、医療機関、行政との情報共有を密にし、感染予防に努める。
- (2) 担当の高齢者が感染症に罹患した際の受け入れ先の確保や療養の在り方などを医療機関や地域連携室と相談し、家族支援の体制づくりに取り組む。

6. 災害対策

具体的目標と指標

- (1) BCP 計画の学習会の実施と作成、大規模災害を想定した訓練の実施
- (2) 有事の際に担当利用者や地域の高齢者を支援するための協力体制を自治会と構築する。

7. 施設の保守、修繕

具体的目標と指標

- (1) 無駄をなくし法人の機材を大切に使う。
- (2) 事務所内の備品や電動自転車は定期的にメンテナンスを行い、故障の予防に努める。